

2024 人事院勧告

＼ 給与 3年連続増 月給 +2.76%は 30年ぶり高水準 /
月例給・一時金ともに増 太田市、地域手当 3%→4%市認定も実施未定

8月8日(木)、人事院は、2024年度の国家公務員の月給を2.76%(11,183円)、一時金(期末・勤勉手当)を0.10カ月引き上げて年4.60カ月とするよう国会と内閣に勧告した。

昨年に引き続き月給・ボーナスともにプラス改定を求め、この勧告が受け入れられれば、国家公務員行政職(一)の平均月給は41万6561円、平均年収はボーナスを含む平均年

収は22万8千円(3・4%)増の691万6,000円になる。

今回の人事院勧告は国家公務員に対する「勧告」であることから、我々地方公務員の処遇を直ちに決定づけるものではない。本秋に控える群馬県人事委員会勧告の内容を踏まえ、太田市議会での給与条例改正が成立して初めて処遇改定となるが、これらは毎年的人事院勧告を基礎として行われることから、今後の動向が注目される。

〔給与〕月給、一時金(ボーナス)はどうか？

〔給与改定の内容〕

〈月例給〉…官民格差：11,183円(2.76%)分引上げ 俸給表全体を増改定
(若年層に最も重点置きつつ、30歳代後半までの職員に重点)

※1月1日付の定期昇給分を加えると、月収で約4.4%の給与改善 ※平均改定率(行政職俸給表(一))は、1級11.1%、2級7.6%、全体3.0%

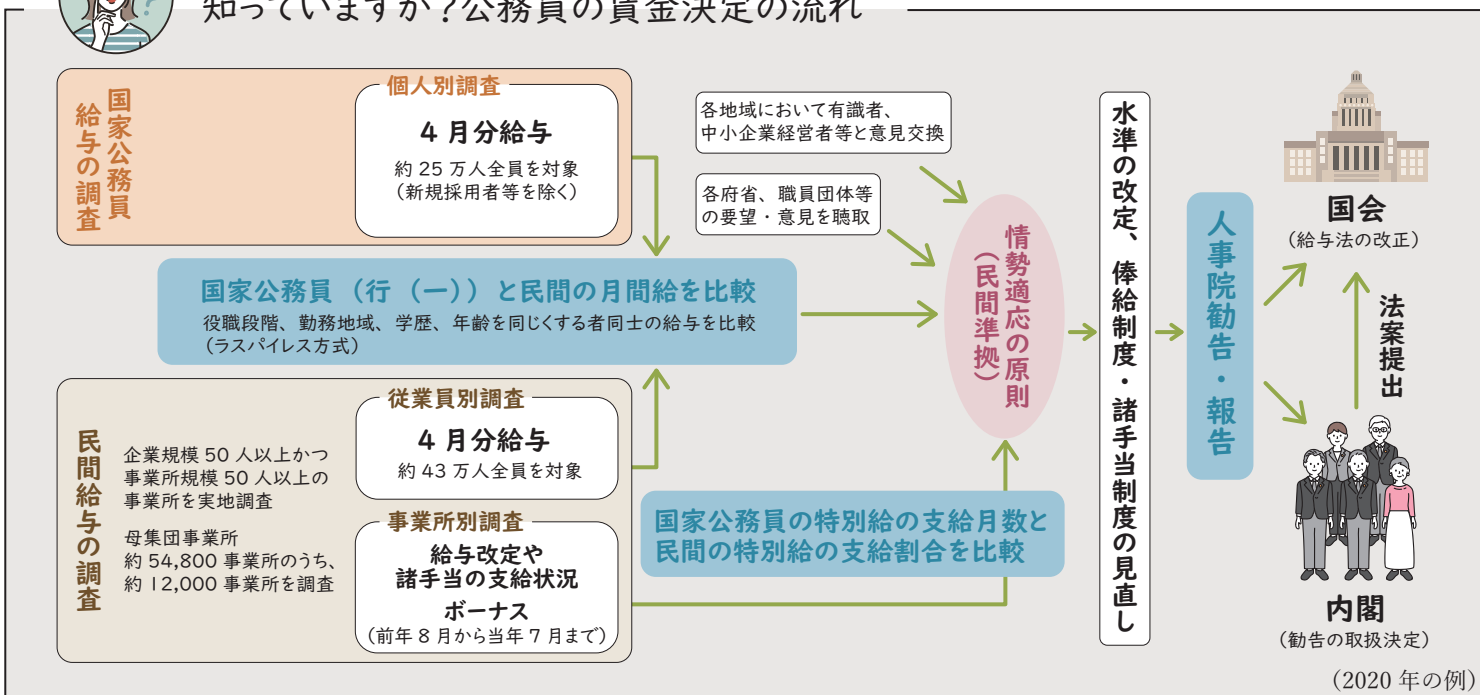
〈一時金(ボーナス)〉…0.10月増(4.50月→4.60月)、期末・勤勉手当の両手当に支給月数を0.05月分ずつ均等に配分

〈一般の職員の場合の支給月数〉

	6月期	12月期
令和6年度 期末手当	1.225月(支給済み)	1.275月(現行1.225月)
勤勉手当	1.025月(支給済み)	1.075月(現行1.025月)
令和7年度 期末手当	1.25月	1.25月
勤勉手当	1.05月	1.05月



知っていますか？公務員の賃金決定の流れ



太田市職労、モデルケース提示を県本部へ要請 中途採用者の条件改善にむけて



▲2024 単組オルグの様子

8.22 2024 単組オルグ開催：人事院勧告の内容と課題を共有

8月22日（木）、組合カフェルームにて県本部主催の「2024 単組オルグ」が開催された。太田市職労からは松木副委員長を含む3名が、県本部からは青木委員長と板場書記が出席した。このオルグは、県本部が県内の各単組を訪問し、人事院勧告期から確定期にかけての課題を共有し、全体で取り組むために実施されたものである。オルグでは、県本部より2024年の人事院勧告の内容と県本部定期大会の開催に向けた必要事項の確認が行われた。単組発言の場では、太田市職労より中途採用者の昇任条件の改善について言及。中途採用者の昇任条件について各単組で足並みを揃えるため、まずは県本部が統一的な運用モデルを示すことを要望した。県本部は「持ち帰り検討」とし、検討する姿勢を示した。

01

『諸手当』扶養手当の見直し、 地域手当大括り化で「群馬県0%」へ

配偶者の扶養手当が廃止される。一方、子に係る手当が段階的に拡充され、令和7年度11,500円、令和8年度13,000円となることから、多くの組合員に影響が及ぶものとなる。

また、現地域手当は、民間給与が比較的高い市町村を1級地から7級地まで7区分し、月給の3~20%を支給する仕組み。人事院案によると、市町村単位から都道府県単位に広域化すると同時に、支給率も4~20%の5段階へと再編。同じ都道府県の中でも、中核的な市（民間給与が特に高いと見込まれる県庁所在地や人口20万人以上の市）は、実態を踏まえ支給率を個別に指定する方針であった。今回、群馬県が0%となることは過去10年の賃金水準から想定されていたため、太田市では輸送機器関連企業の賃金水準により0%か4%になるかが争点だった。

＜地域手当の支給割合＞

現行	群馬県	—
	太田・渋川・前橋	3%
	高崎	6%



人事院見直し案 (市→県へ大括り化)	群馬県	0%
	太田・高崎・前橋	4% (中核的都市：人口20万人以上の都市)

02

『地域手当4%支給の獲得』 本秋の賃金確定闘争最大の課題へ設定

本勧告の結果、群馬県は支給率0%の県(級地)とされた。一方、太田市ほか2市については、中核的な市であることを踏まえた「都道府県の級地と異なる地域」と位置づけられ、5級地相当(支給割合4%)と設定された。

しかし、国は、支給割合の改定について3%支給の市町村を令和7年度から4%支給とする方針を打ち出していない。このことから、太田市職労は、令和7年度から4%支給とするように当局と交渉することを本秋の賃金確定闘争における労使交渉の一番の課題と位置づけている。



— 今後の予定 —

- 9月3日【自治労】2024年度県本部会計決算監査
- 9月10日【自治労】都市評議会第57回定期総会
- 9月11日【市職労】会計監査
- 9月17日【市職労】第12回執行委員会
- 9月20日~21日【自治労】群馬県本部第96回定期大会
- 10月8日【市職労】第53回定期大会

岸まきこ

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

参議院議員(自治労組織内議員)

自治労の政策要求を 実現しよう!

とともに

声を力に、
一歩前へ

岸まきこ 公式サイト
kishimakiko.com/
岸まきこ 検索

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。

岸まきこ (岸真紀子) プロフィール
1976年北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ。94年旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)。2013年から自治労中央執行委員。19年第25回参院選(全国比例区)で初当選。現職に至る。